令和２年度　学力向上のための取り組み＜成果・課題＞

白井第一小学校

令和２年度　学力向上のための取り組み＜成果・課題＞ ※成果は「〇」、課題は「▼」
令和２年度の学力向上のための取り組み 〇本に親しむ時間を確保した。週末は宿題で読書を出した。（４年） 〇授業ごとに漢字ミニテストや計算ミニテストを行う。合格点を定め，達していない場合には再テストを行い，定着を図る。（全学年） 〇常に漢字辞典と国語辞典を身近に置いて，色々な教科で活用した。（４年） 〇計算音読を取り入れて，基礎学力の定着をはかった。（４・６年） 〇空き教室を活用して，個別指導をした。（４年） 〇計算力アップを図るため，かけ算やわり算等の 100 問テストの実施した。（５年） 〇繰り返し反復を行うことで，計算力の向上『正確・速く』が図れた。（４・５・６年） ▼日々の家庭学習を徹底していく。（全学年） ▼定期的な保護者閲覧・友達同士のノート交換・担任確認していく。（５年） ▼自主的学習で学習の足りないところの補強をする（６年）

令和２年度　学力向上のための取り組み＜成果・課題＞

白井第二小学校

令和２年度　学力向上のための取り組み＜成果・課題＞ ※成果は「○」、課題は「▼」
令和２年度の学力向上のための取り組み ○「主体的・対話的で深い学び」を心がけ、職員一同指導に努めてきた。 コロナ禍での取り組みは困難だったが、児童が主体的に学習に取り組む姿勢が随所に見られるようになった。 ▼一方で、「表現する力」の定着が不十分である。発達段階に応じて、低学年から伝える力、書く力を身につけさせられるような指導を行っていく必要があると考える。 その他 ・学校が再開した６月から、学習の遅れを取り戻すために児童も職員も必死だったため、Ｒｅナビによる復習時間をほとんど確保することができなかった。 また、学力テストのように当該学年の試験範囲ではなかったので、児童の意欲が低下していたように感じる。（児童がテスト範囲を広いと感じていた。） ・今年度取り組んできた「主体的・対話的で深い学び」を継続していく。また、基礎学力の定着、表現力の向上を図っていく。

令和２年度　学力向上のための取り組み＜成果・課題＞

白井第三小学校

令和２年度　学力向上のための取り組み＜成果・課題＞ ※成果は「〇」、課題は「▼」
令和２年度の学力向上のための取り組み 〇目的意識をもたせることで、意欲の向上が見られた。（修学旅行への下調べ、他学年へ発表する等） 〇前半のパソコン室が使えるときに、インターネットを活用した調べ学習を行ったり、プレゼンテーションソフトを使った発表を行ったりした。視覚的にわかりやすい資料を使う等の工夫が見られた。 〇コロナ禍で制約があったが、換気をしたりソーシャルディスタンスを確保したりする中での話し合いや、紙面上での教え合い等、方法を工夫することで学び合いの学習を模索した。学び合うことで、自分の考えを深めたり改めたりする場面が見られた。 〇従来は、読書８：０５～８：１５、ドリルタイム８：１５～８：２５と位置づけていたが、朝の健康観察の対応のため８：１０～８：２５を読書またはドリルタイムとした。読書をしたり、独自のミニテストを実施したり、休校の影響で遅れている学習に充てるなど、充実させることができた。 〇国語と算数の月例テストを行った。出題範囲をあらかじめ知らせることで学習意欲を喚起するとともに、知識や技能の定着につながった。また、合格点に達しない場合には、再テストも実施した。 〇継続的な音読・計算練習カードや日記活動を行い、保護者確認サイン等、保護者に協力をしていただき、家庭学習の定着を図った。 ▼音読・ドリルタイムの区分が明確でなかったので、次年度は、通常の時程に戻し、朝の２０分を読書とドリルタイムで活用する。 ▼方法を模索しながらの、学び合いであったため、充分な活動とはいえなかった。コロナ禍は続くので、一人一台のタブレットを活用するなど、コロナ禍での学び合いを深めていきたい。

令和２年度　学力向上のための取り組み＜成果・課題＞

大山口小学校

令和２年度　学力向上のための取り組み＜成果・課題＞ ※成果は「〇」、課題は「▼」
令和２年度の学力向上のための取り組み 〇各学年で「書く」活動に取り組み廊下掲示等を行った。文を書くことに対して児童の抵抗を感じる児童が少なくなった。 〇学級図書館の活用を推進し，どの学級も週に１度は図書館を訪れ，読書に親しんだ。方法を工夫して推進教員による読み聞かせも実施することができた。 ▼新型コロナの影響を受け，意見の交流，詩の朗読，若年の授業相互参観などが思うように実施できなかった。 その他 ・タブレット端末等，ICT 機器の活用について，次年度プロジェクトチームを中心に方法を検討，実施していく。

令和２年度　学力向上のための取り組み＜成果・課題＞

清水口小学校

令和２年度　学力向上のための取り組み＜成果・課題＞ ※成果は「〇」、課題は「▼」
令和２年度の学力向上のための取り組み 〇家庭の協力を得ながら児童を励ますことができるよう，国語のワークテストを全校で統一し，毎月付属の漢字テストをファイリングして，家庭へのフィードバックを行った。 〇保護者が児童へのメッセージを書くことができるようにすることで，児童の学習に対して関心をもたせることができた。 ▼国語（漢字）のみの実施だったため，算数（計算）についても考えていく必要がある。限られた時間の中での作成ができるよう，よい方法を検討していきたい。

令和２年度　学力向上のための取り組み＜成果・課題＞

南山小学校

令和２年度　学力向上のための取り組み＜成果・課題＞ ※成果は「〇」、課題は「▼」
令和２年度の学力向上のための取り組み 【算数科】 〇校内研修（算数科３年目）の蓄積を生かして、全教職員が算数科学習の流れや方法について共通理解することができた。その上で、学年やブロックでの教材研究を深めながら、日々の実践に学力向上の視点を生かすことができた。 ▼感染症対策を優先するため、児童同士の協働時間を確保したり、伝え合う場面を設けたりすることに制限があった。今後は、タブレット端末の活用なども視野に入れながら、考えを広げ、深める方法について研究していく必要がある。 【家庭学習】 〇音読カードや計算カードを活用した家庭学習を毎日継続して行うことができた。その際には、保護者が家庭学習のねらいを把握しやすいよう、評価のための観点を分かりやすく明記した。 ▼家庭学習の重要性に対する保護者の認識に差があり、学力差がより広がってしまう傾向が見られた。 その他 〇千葉県教育委員会発行の資料を活用し、学力向上に役立てることができた。

令和２年度　学力向上のための取り組み＜成果・課題＞

七次台小学校

令和２年度　学力向上のための取り組み＜成果・課題＞ ※成果は「〇」、課題は「▼」
令和２年度の学力向上のための取り組み 〇国語では、毎月範囲を決めて漢字の書きのテストを行った。基礎力が養われた。 〇算数では、毎月行う計算テストや、単元ごとのワークシートへの取り組みにより、基本的な問題を解く力がついてきている。 ▼練習が成果につながらない児童もいる。 ▼生活の中で覚えた漢字を使用できない。 ▼直感的に解くのではなく、問題を丁寧に読み、題意をよく考えて解くことができるように今後、取り組ませていきたい。 その他 ・学習の前の５分間、または家庭学習として範囲を指定してフィードバックを続けていき、活用していきたい。

令和２年度　学力向上のための取り組み＜成果・課題＞

池の上小学校

令和２年度　学力向上のための取り組み＜成果・課題＞ ※成果は「〇」、課題は「▼」
令和２年度の学力向上のための取り組み 〇学習規律を身につけさせることができた。（姿勢・持ち物・聞き方・話し方・ノートの書き方など） 〇授業の導入，単元の導入の指導の工夫し、学ぶことに興味や関心をもたせることができた。 〇主に算数科の授業展開を通して、見通しをもって取り組むことができるよう，指導の工夫をすることができた。（学習のめあて，課題などの出させ方や提示の仕方を工夫し，一人ひとりの子どもが確実に把握できるようにした。） 〇自分の学習理解度を自己判断し，自ら考えて課題を見つけて家庭学習に取り組むことができるような態度が身に付き始めてきた。（メタ認知） ▼自分の考えをノートやワークに書き，整理させてから話し合い（ペア・班・学級全体）を進め，自己の考えを深めさせることを心がけていったが、内容の質や捉え方，論点がずれないような対応を工夫することなどの対応をさらに考えていく必要があった。 ▼学習過程の中や終末で振り返りを行い，学習の方向性を確認，学習の価値・意義の自覚，今後の学習へのつなぎや関連をもたせるようにしていったが、学習の定着へ向けての振り返りをしていく必要性があった。 その他 ・朝のチャレンジタイムの実施～毎週月・水・金の週３回 15 分間の充実を図り、基礎学力の定着を継続して図っていく。

令和２年度　学力向上のための取り組み＜成果・課題＞

桜台小学校

令和２年度　学力向上のための取り組み＜成果・課題＞ ※成果は「〇」、課題は「▼」
令和２年度の学力向上のための取り組み 〇スキルタイムを活用し，漢字や言葉の学習・計算ドリルなどに取り組み，基礎学力向上に努めた。 〇学習の定着を目指して，プリントバイキングに取り組んだ。今学習している単元のプリントをたくさん用意し，教科書の課題が終わった児童から自分に合ったプリントを選択する。テスト前に行うことで，学習の定着を図ることができた。 〇小中企画会や校内の研究推進委員会でふり返りのやり方を確認し，学年学級の実態・教科に合わせて取り組んできた。できたこと・分かったことを実感させ，次回のやる気に繋げることができてきた。 その他 ・教師の授業力アップを目指して，相互授業参観やブロック研修を行った。学年間で授業を見合ったり，学級での取り組み（話し合い活動やふり返りの仕方の工夫など）を低中高のブロックごとに共有したりした。勉強になったという声が多数あったので，来年度も継続して取り組んでいく。